



< 特集 >

# まちづくりシンポジウム 2005

## 〔平成 17 年度 茨城県うるおいのある まちづくり顕彰事業受賞者〕

《まちづくりグリーンリボン賞》

花いっぱいプロジェクト及びセントラルビル  
創業支援プロジェクト

～水戸市中心市街地の花壇整備と木造アパート  
のリノベーション～

受賞者：NPO法人

茨城の暮らしと景観を考える会

日立市吉田正音楽記念館の建設

～周辺環境に配慮し広く市民交流の場となる  
記念館の建設～

受賞者：日立市

十王パノラマ公園の花壇の維持管理と  
清掃活動

～地域住民 11 名による総面積 1,500 m<sup>2</sup>の  
花壇の維持管理～

受賞者：しょうぶ有りの会

真壁高上町駐車場の整備

～真壁地区の景観にふさわしい駐車場の整備～

受賞者：桜川市

木の文化塾の活動

～修復された茅葺きの古民家を拠点とした  
まちおこし～

受賞者：木の文化塾



< 木の文化塾の活動 >

《まちづくりグッドサイン賞》

旧内原町閉町記念碑

～永く親しまれる記念碑を整備～

受賞者：水戸市

” : (株) アレスコ



< 花いっぱいプロジェクト及び  
セントラルビル創業支援プロジェクト >



## 基調講演

「持続可能な次世代につなげるまちづくり」

講師 筑波大学大学院システム情報工学研究科教授  
大村 謙二郎

### 【要旨】

少子高齢社会をこれから迎えていく中において、私たちの地域社会をどう組み立てていくのかということが大きな課題になっていますが、これは都市計画やまちづくりにも避けて通れない問題です。改めて世代間のつながりや世代に継承していく地域のあり方を考えていかなければなりません。

20世紀のまちづくりの中でいえば、いかに効率よく物理的な環境としての都市をつくっていくかということに重点が置かれていたのですが、ただ単に、いい器としての空間をつくれればいいというだけでなく、そこで営まれる生活、あるいは社会の環境がどうかということも重要になってきます。

これからの都市計画、まちづくりの方向性としては次のように考えます。

それぞれの都市地区における市街地形成地域の比較優位を生かす(例えば、つくばはつくばなりのどういう点がいいところかということを生かしていく)。

自動車依存型都市構造をどうやって見直していくか。

女性の視点・子どもの視点・高齢者の視点を生かしたまちづくり。

団塊の世代が持っている知的資源・情報量・ネットワークをうまく地域社会の中に生かしていく。

これからは既存のストック(人的資源を含めて)がより評価されるような時代になっていかなければならないと思います。

## パネルディスカッション

・コーディネーター

大村謙二郎

・パネリスト

島袋 典子 ((有)つくばインキュベーションラボ代表取締役)

根津久美子 (茨城県地域活動連絡協議会(母親クラブ)会長)

三浦 一憲 (つくば市商工会まちづくりWG グループ長)

小野寺 清 (つくば市助役)

### 【パネルディスカッション要旨】

島袋氏

「人は住むだけではなく、住んで生きていくためにはなりわいが必要。ストックの話でいえば、農業でも商業でも個人のストックが流動化しない、新しい担い手もでてこないということが問題であり、会社でもNPOでも個人事業でもいろいろな主体がまた新たに生まれてくるのがサステナビリティ(持続可能)だと思います。」

根津氏

「母親クラブの活動の柱の一つとして児童の事故防止のため公園などにある遊び場の遊具の点検を実施してきました。子供が安心して遊べる公園づくりを通して、人も変わり、愛着のもてる公園に変わってきます。そして地域の人が変わり、愛着のもてる地域づくりができるのではないのでしょうか。」

三浦氏

「私の住んでいる地域のコミュニティも、いわゆる旧住民という地元の方、それから新しく住民になった方との交流はありません。そこで、スポーツでまちづくりをしていく、音楽でまちづくりをしていくことによって、地域のコミュニティの大きなネットワークというのが、実はできるのではないかと考えています。」

小野寺氏

「つくば市でこれからのまちづくりの基本的な考え方を取りまとめる中で、市民からアンケート調査を実施した結果、市民が第一位に挙げたつくば市の将来像は、安全で安心なまちでした。そして人々との助け合いが重要であると認識されていることから、人を思いやる地域社会をつくっていくことが非常に大事だと思います。」

大村氏

「つくばが、それぞれの人にとって懐かしい心の風景になるような都市として成熟していければということを期待します。」

おわりに

今回のシンポジウムにおいては、あいにくの天気にもかかわらずたくさんの方に参加していただきました。どのパネリストの方も地域づくりは人づくりが大事だということをおっしゃっていました。やはり人と人との連携がこれからの21世紀のまちづくりを行う上で重要であるということを改めて感じました。

(文責:事務局)

